

草津白根山 シンポジウム 2023

火山噴火と防災、そして観光を考えるシンポジウムを、国内屈指の観光地・草津温泉で開催します。オンライン参加も可能です。草津白根山・本白根山が水蒸気噴火を起こして5年。草津町内に観測所を有する東京工業大学らの研究で、噴火の詳細が明らかになってきました。同様に、2014年、15年に噴火した御嶽山、箱根山でも研究が進んでいます。本シンポジウムでは、これら最新の研究成果を分かりやすく解説します。さらに、草津町長をはじめ、火山とともに生きる方々が各地域での取り組みを紹介いたします。そして、観光地が火山とより良く付き合うために何が必要なのかを議論します。

Day1

11月17日(金)14:30~17:45

学術シンポジウム

「小噴火を経験した各火山での研究の進展」

- ・箱根山の噴火
道家涼介（神奈川県温泉地学研究所）
- ・御嶽山噴火の準備過程
前田裕太（名古屋大学）
- ・草津白根山の地下構造とマグマ溜り
神田 径（東京工業大学）
- ・草津白根山の形成史
石崎泰男（富山大学）
- ・本白根山2018年噴火
亀谷伸子（山梨県富士山科学研究所）
- ・小噴火を起こす火山の活動評価方法
菅井 明（気象庁）
- ・総合討論
司会 萬年一剛（神奈川県温泉地学研究所）

会場展示 17:45~19:00

- ・御嶽山移動ビジターセンター
(御嶽山火山マイスター)

Day2

11月18日(土)9:00~12:30

防災と観光に関するシンポジウム

「小噴火を経験した各地域の観光・防災の取組」
司会：井出美津代（草津町商工会女性部代表）

- ・[基調講演] 草津白根山での取り組み
黒岩信忠（草津町長）
- ・草津白根山の高山植物と火山
湯田寿幸（自然ガイド）
- ・箱根山での取り組み
佐藤 守（箱根町観光協会）
- ・御嶽山での役場職員、住民の取り組み
野田智彦（木曾町役場）
- ・丸山文広（御嶽山火山マイスター）
- ・三宅島で被災を経験した記者として
津村浩司（NHK社会部記者）
- ・火山における防災情報伝達の課題
阪本真由美（兵庫県立大学）
- ・総合討論
司会 寺田暁彦（東京工業大学）

オプション企画

11月18日(土)14:00~16:30

現地見学会「草津温泉と火山活動」

草津温泉周辺にて火山噴火の痕跡などを観察します。講師も何名か参加しますので、自由に議論ができます（無料・要申込）。

- 14:00 草津温泉ホテルヴィレッジ玄関集合
天狗山、殺生河原・他
- 16:30 草津温泉バスターミナル解散

入場無料・要申込

現地参加、オンライン参加ともインターネットにてお申し込みください。下記のリンク、またはQRコードをご利用ください。締切は2023年11月14日です。

<https://forms.gle/2cS3XfvGy3oY1wHJ8>

※事前申し込みなく当日会場参加も可能ですが、定員を超えた場合お断りする場合があります。



開催場所

草津温泉ホテルヴィレッジ/オンライン

住所：群馬県吾妻郡草津町大字草津618/Zoomウェビナー

主催：「火山噴火と防災および観光シンポジウム2023-草津白根山、御嶽山、箱根山-」実行委員会
(東京工業大学科学技術創成研究院多元レジリエンス研究センター*、草津町、名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究センター、神奈川県温泉地学研究所、富山大学都市デザイン学系、一般社団法人国立大学協会)

*旧・理学院火山流体研究センター

後援：NPO法人日本火山学会、地震火山噴火予知研究協議会、草津温泉旅館協同組合、環境省信越自然環境事務所

お問合せ：実行委員会事務局（東京工業大学多元レジリエンス研究センター内）

（メール）kazansympo@jim.titech.ac.jp なるべくメールでお願いします。

（電話）03-5734-2515 ただし、月・水・金の日中のみ対応。（FAX）03-5734-2492